

【案件概要】

アルア県エカラカフェ小学校における教室棟及び女子トイレ棟建設計画

1. 計画の概要

被供与団体	エカラカフェ小学校
供与額	58,815米ドル
署名者	ジョイス・ドラレル(校長)
計画名	アルア県エカラカフェ小学校における教室棟及び女子トイレ棟建設計画
実施地	アルア県ヴァーラ準郡(ウガンダ北部)
供与内容	教室棟(4教室及び校長室・倉庫・家具付, 324人収容), トイレ棟(5基)
贈与契約署名日	2017年1月17日

ウガンダ北部アルア県は、隣国コンゴ民主共和国(DRC)との国境沿いに位置し、1980年代後半以降、反政府組織「神の抵抗軍(LRA)」が度々西ナイル地域も襲撃し被害を与えたほか、DRCや南スーダンの内戦を逃れた難民も同地域に流入しています。そのため、同地域は開発が大きく立ち遅れ、ウガンダ国内で最も人間開発指数が低い地の一つとなっています。エカラカフェ小学校は1953年にカトリック教会によって設立された公立小学校で、小学1年生から7年生の生徒974人(男子492人、女子482人)を受け入れています。同校には教室は7教室あり、各学年1教室が割り当てられています。しかし、低学年では200名を超える教室もあり、混雑の中効果的な学習が出来ていない状況です。また、男子トイレ棟が2棟あるのに対し、女子トイレ棟が1棟のみしかありません。本計画では、教室棟を建設し、家具の整備を行うことにより、学習・指導環境が改善され、生徒約974人及び教員16名が裨益します。また女子トイレ棟を整備することにより、衛生環境が改善され、女子生徒約482人が裨益します。

2. 贈与契約署名式

2017年1月17日、在ウガンダ日本国大使館において、亀田和明大使とジョイス・ドラレル校長の間で贈与契約が署名されました。[プレスリリース\(英語\)](#)

